

【感王寺 耕造 議員 一般質問】

令和7年 第1回 定例会

1 畜産農家への支援策について

- (1) 令和7年4月より、肉用子牛生産者補給金制度の保証基準価格・合理化目標価格の引き上げ。令和7年4月より令和8年3月まで、優良和子牛生産推進緊急支援事業（黒毛和種）の発動基準の引き上げ。令和7年4月より令和8年3月まで新規事業として和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業を立ち上げた。また、本市も新規事業として畜産経営者支援事業補助金700万円・畜産振興促進支援事業補助金40万円・畜産環境整備事業補助金200万円を今議会に上程されている。畜産農家の経営意欲向上につながると考えるが、事業の説明と、現状での課題と今後の経営環境の見通しは。また、厳しい経営状況が続いており各種資金の返済引き延ばし・負債整理資金への相談が今後も増加すると考えるが、対応体制は整っているのか。固定資産税・市県民税・国民健康保険税等の納税相談への対応は。
- (2) 生産過剰・在庫の一掃を図る需給バランスの正常化、国内・輸出への販売や消費拡大策の拡充、配合飼料価格安定対策の制度の見直し、燃油高騰対策の事業者への継続や拡充、農業機械導入への補助金拡充について、国産飼料・国産肥料の生産拡大等全国の畜産業者・畜産関連業者から切実な要望や悲鳴があがっている。市長の業界への現状認識と今後の国・県への要望活動、生産者へのメッセージを伺う。

2 勤怠システム・職員の週休日振替及び代休日の指定等に関する取扱いの見直しについて

- (1) 勤怠システムが本年1月より導入・稼働された。システム導入することにより、「通常」「催事」の休日出勤を含む時間外勤務の状況を上席や総務課の職員が適宜把握できるとのことであったが、現在の状況と今後の課題は。
- (2) 職員の週休日振替及び代休日の指定等に関する取扱いについて。

3 技術職員の配置状況・採用について

- (1) 保健師・管理栄養士・一般技師の配置状況について。
平常業務はもとより、感染症の拡大・災害時に対処できる配置状況か。
- (2) 職員間の技術伝承を図るために、平準化した職員採用をすべきでは。
- (3) 林務係への専任技師配置の考えは。

4 上水道老朽管の更新状況・漏水の点検について

- (1) 基幹管路の耐震化率と今後の計画は。
- (2) 漏水点検の現状と課題、今後の計画は。

5 市道・農道の点検と整備について

- (1) 市道・農道の点検と整備について

令和6年 第3回 定例会

1 介護保険・訪問介護事業について

- (1) 訪問介護事業所は、市内に1業者となってしまった。市内の一部には鹿屋市の事業者が参入されているとのことであるが、利用希望者の依頼全てに対応できているのか。
- (2) 社会福祉協議会への市の現状の支援策と今後の対応は
- (3) 保険料の引き下げや介護報酬の引き上げ等、国への要望が必要と考えるが市長の考えは

2 職員の労働環境について

- (1) 職員の休日出勤の状況について
- (2) 代替休・年次休暇の取扱いについて、代替休の消化期限はあるのか。
 - ア 期限内に消化できなかった場合の対応は
 - イ 何年も前の代替休を処理してない職員もいると聞いたが、運用は問題なくされているのか。
 - ウ 年次休暇の取得状況と取得の奨励は
- (3) 休日出勤については、イベント担当課以外の各課への応援割り当てとなっているようだが、強制となっていないか。
- (4) 休職での欠員への補充は適切に行われているのか。

3 職員確保対策について

- (1) 公務員の成り手不足が深刻化している。採用試験への応募増への対策と採用後の職場定着の取組は
- (2) 働きやすい職場環境づくりが必要であると考えるが、今後の対応は

4 市庁舎の環境整備について

- (1) 駐車場不足について
- (2) 仮庁舎への移動について
- (3) 庁舎内の環境整備について（庁舎内の雨漏り箇所と修繕の方向性は）

5 避難所・病院・福祉施設について（日向灘を震源とする地震・台風10号）

- (1) 台風10号時の避難所設置箇所・設置数と利用者は
- (2) 避難が長期にわたり、停電も長時間続いたが利用者の要望・今後の課題は（病院含む）
- (3) 大規模災害時には避難が長期化し猛暑による健康被害が生じる懸念があるが、空調施設の設置や非常用電源の確保はできているのか（病院含む）

6 熱中症特別警戒アラートについて

- (1) 環境省は災害級の熱波に備えるため、熱中症特別警戒アラートの運用を本年4月24日から10月23日まで全国で始めた。アラート発動があった場合、市区町村は事前に決めた公民館など「指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）」を開放する。熱中症

にかかりやすい高齢者や乳幼児への配慮、対策を徹底できない場合の運用等について
本市の対応は

令和6年 第2回 定例会

1 堆肥センターについて

- (1) 今回の補正予算で1,251万3,000円の不良堆肥処分費用が計上されている。不良堆肥発生の原因と処分量は
- (2) 堆肥の販売量、収入（生産物売払い収入）とも令和5年度の実績は対前年度比、大幅に減少している。原因の分析と販売対策は。また、製品の在庫状況は
- (3) 平成14年度に稼働し、令和6年度末には施設設備の耐用年数が経過する。修繕料も毎年度多額に上がっているが今後の方向性は

2 農業振興対策について

- (1) 新規就農者の直近5年間の数は。また、今後の対策は
- (2) 新規作物の選定について
- (3) 6次産業化の現状と今後の対応は
- (4) 農業者の高齢化が進み、耕作放棄地の増加が懸念される。農家の意向調査を実施し対応策を立てるべきでは
- (5) 鳥獣被害対策について

ア 駆除報酬増と狩猟期間中の市単独の駆除報酬支払の考えは

3 旧牛根中学校及び周辺市有財産利活用について

- (1) プロポーザル方式で取り組むとのことであるが、企業の今回の提案のみでは地域の様々な課題が解決できるものではないと考えるが見解は
- (2) 3月議会最終本会議の3月18日の全員協議会で初めて議員への説明があった。議会軽視ではないか。今回の提案は何を主要な目的としているのか。4月3日13時30分から牛根地区公民館で説明会があり、30名ほどの参加があったとのことであるが、意見の内容は。また、夜間開催も行い幅広い意見聴取と理解を求めるべきであったと考えるが、また、牛根地区住人の理解が得られたと考えるのか見解を伺う
- (3) 現在の進捗状況はどうなっているのか

4 カスタマーハラスメントについて

- (1) 庁舎内でカスタマーハラスメントの事案が出ているのか
- (2) 県の自治体で職員名札の変更が相次いでいるが、本市での今後の取組は

5 フリースクールへの財政支援について

- (1) 県外ではフリースクール利用者へ授業料などを補助する自治体が増えているが、本市も取り組むべきでは

令和6年 第1回 定例会

1 防災対策について

- (1) 本年 1 月 12 日の牛根地区図上訓練の成果と課題、今後の防災訓練の方向性について
- (2) 大災害時の避難計画の策定と避難場所について
- (3) 鹿児島市、霧島市、鹿屋市及び始良市との連携、広域避難に向けた情報収集と防災教育の在り方について
- (4) 高齢者や妊婦、乳幼児、技能実習生など災害弱者の避難対策と避難場所の運営について

2 交通弱者・買い物難民対策について

- (1) 国の地域公共交通確保維持改善事業のうち、地域内フィダー系統確保維持費の国庫補助金を活用し、4 系統の乗合タクシーが運行されているが、事業対象外の地域についても一人当たり年間 3,000 円のおでかけチケットのみの対応しかされていない。地域間格差がはなはだしい。市単費での乗合タクシーの拡充やおでかけチケットの増額の考えはないのか。また、本年 5 月策定予定の地域公共交通計画策定の方向性は
- (2) 通院・買い物難民対策について

3 垂水市空家等対策計画・空き家の有効活用について

- (1) 特定空家の手続きについて
- (2) 空き家の有効活用、質問後の取組状況は

4 パートナー制度について

- (1) 志布志市は L G B T など性的少数者のカップルを公認する「パートナーシップ宣言制度」の受付を開始した。本市の取組みの考えは

令和 5 年 第 4 回 定例会

1 ふるさと納税について

- (1) 10 月 1 日からふるさと納税返礼における厳格化がなされた。しかしながら現在上程中の補正予算では、寄付が増加すると見込まれているようだが、本市への影響はないと考えるか、また、目標額達成に向けた対策は
- (2) 全国の多くの自治体で返礼品の産地偽装、誤表示の事例が出ているが、本市ではこのような事例はなかったのか、また、チェック機能はどのように果たしていくのか
- (3) 産地偽装した事業者に産地偽装の対応についてもふるさと納税は、三割ルールがあることから代替品の対象業者への委託支払いが必要と考えるが反応がない事例が出ている。産地偽装誤表示があった場合の対応策はどうするのか

2 垂水市民間資金活用集合住宅建設促進条例について

- (1) 平成 27 年度からこの条例が施行されたが、これまでの地区ごとの実績は
- (2) 垂水小学校校区外の集合住宅建設については、この対応で十分か
既存の空き家の利活用を図るべきでは

3 宮脇海岸公園の指定管理者について

- (1) 現在でも年4～5回アコウの樹の落葉を環境整備班で除去しているが、指定管理締結後は宮脇海岸公園全般の清掃は指定管理者が行うのか

市と指定管理者との管理のすみ分け、また、構築物についてはどこまで認めるのか

- (2) 指定管理後も、誰でも公園を利用できるのか、また、地域住民との協議の場は

4 森林環境譲与税について

- (1) 林家の意向調査等、事業の進捗状況は

- (2) 政府、与党は森林環境譲与税の配分見直しの検討に入った。譲与税の増額が見込まれるが今後の事業展開は、また、農道・林道の崩壊箇所が多数見受けられ、林地の状況確認もできないところもある。環境税はもとより、市単独事業も行いアクセス環境を整えるべきでは

令和5年 第2回 定例会

1 新城郵便局包括受託に関する要望書について

- (1) 3月議会で主旨採択となったが、その後関係課での協議は行ったのかまた、今後の方向性は

2 市道上市木～野久妻線について

- (1) 損傷がひどいが、改修工事の予定は

3 清掃センターについて

- (1) 労働環境の整備が必要では

- (2) 市外（霧島市・鹿児島市）からの粗大ごみ搬入が見受けられるとの声を聞いたが、受付手続の見直しが必要では

- (3) ゴミ分別の規則順守状況は

4 児童クラブについて

- (1) 希望者は、全員受入れができているのか

- (2) 対象外の4年生以上についても、希望者がいると聞いているが、対応できないのか

5 有害鳥獣対策について

- (1) 電気柵・ワイヤーメッシュの導入がなされているが、そのほかの対応はできないのか

- (2) 個体数を減らすことが、一番必要であるが、国庫補助・市上乗せ分がでない狩猟期間中でも市単独補助をだすべきでは

- (3) 中山間地区の集落を巻き込んだ対策協議会の設置が必要では

6 森林環境譲与税について

- (1) 現在までの進捗状況と今後の事業計画は

- (2) 山林に人が入らなくなり、林道・農道が通れない状況で人工林の生育状況も確認できない。早急の整備が必要では

令和5年 第1回 定例会

1 空き家の有効活用・特定空き家の活用について

(1) 居住可能物件について(新城・牛根地区)を中心に利活用を図るためにワーキンググループが開かれているが、内容について伺う。また、一部修繕すれば利活用できる物件についても所有者、相続権者の意向を調査すべきと考えるが見解は

(2) 市道山之手線(通称・園道)沿いの廃屋への対応は

(3) 特定空き家について空き家対策特別措置法に基づき所有者に適切な管理や修繕を求めたうえで勧告し、解体を進めるべきだと考えるが見解は

(4) 勧告することで固定資産税の特別措置を外すことができると考えるが見解は

(5) 民法の一部改正・不動産登記法の改正、相続登記の義務化、住所変更登記の義務化、相続土地の国庫帰属等施行されていくが、情報収集、研修会開催の考えは。また、マンパワーの不足が懸念されるが、職員の充足は

2 旧牛根中央クリニックについて

(1) 令和元年8月に寄付採納されたが、いまだ活用されていない。今までの経緯と今後の活用は

(2) 牛根地区の医療体制をどのように担保していくのか

3 牛根地区の老健施設について

(1) グループホーム「ゆうきのなぎさ」が本年3月末をもって閉鎖されるが、対応は

4 旧牛根中、協和中について

(1) 平成22年3月末日、閉校したが何ら活用されていない。今後の利活用・売却等の考えは

(2) 地域住民の意向調査は

5 職員のストレス軽減対策について

(1) 現在数名の職員が病気休暇中であるが、職員の健康を担保する対応になっているのか

(2) 病気発症前に兆候を見つけられる体制を早急につくるべきでは

6 水源確保対策事業について

(1) 予算復活の要望を畜産農家から受けているが、予算措置の考えは

7 インボイス制度について

(1) 申請が3月31日に迫っているが、対象者への説明会等今後の対応は

令和4年 第3回 定例会

1 農・畜産業、支援対策について(生産資材価格の高騰対策)

(1) 国のセーフティーネット事業の利用状況について

(2) 政策金融公庫等への誘導など相談窓口の考えは

(3) 市単独補助の考えは

2 空き家解体事業について

(1) 事業の進捗状況と今後の進め方は

(2) 固定資産税の減免の考えは

(3) 空き家全棟調査の活用状況は

3 樹木・学校施設管理について

(1) 学校保健安全法施行規則や建築基準法といった法律に基づく定期点検は行われているのか(専門家の知見に基づいたものか)

4 部活動について

(1) 専門知識的指導者・費用など課題が多いが見解は

(2) 団体競技の場をどのように確保しているのか

(3) 部活動を地域や民間団体に委ねる地域移行への考えは

令和4年 第2回 定例会

公金の不明金について

(1) 「事件」なのか「事故」なのか。発覚後、なぜ速やかに公表しなかったのか

(2) 何が原因で今回の事件が発生したと考えられるか。また今後の対策は

(3) 当時の市長、副市長、関係課長の責任は果たされたのか

2 空き家を活用した定住促進政策について

小中学校の維持対策について

(1) 制度自体は、できたと考えるが、市行政、小中学校、教育委員会、地域と協議をし、連携した人口増を図るべきでは

(2) 教育委員会として小中学校の児童数を増やす対策は果たされているのか

3 合葬墓について

(1) 改葬許可の法的根拠について

(2) 少子化や核家族化を背景に墓の継承者がいない家族や墓が持てない家族が増えている。合葬墓の開設の考えはないのか

4 老人会について

(1) 県補助金 38,000 円/年は 1 団体 30 人以上会員がいないと交付されない。市単独補助金増額の考えはないのか

令和4年 第1回 定例会

1 消費生活相談 啓発と対策について

(1) 光ブロードバンド整備事業の終了により、NTT はもとより、代行業者等電話・訪問販売が激化しているが、相談の事例は。また、啓発と対策について

(2) その他、相談傾向は

2 森林環境譲与税事業について

- (1) 課税と譲与の中身について
- (2) 森林所有者と林業事業体のマッチングの具体的内容は
- (3) 自伐林業（林家）の育成と収入増の対策は
- (4) 所有権者の特定と隣接地との境界確定について

3 住宅対策について

- (1) 柊原団地建替事業について
 - ア 建て替えが必要なのか。他公営住宅への転居で解決できるのでは
- (2) 未利用の教職員住宅を市営住宅として活用できないか
- (3) 新設ではなく、空き家の有効活用は

4 両支所の現状とこれからの方向性について

- (1) 両支所の利用状況について
- (2) これからの方向性について
- (3) 日本郵政への事務包括受託の進捗はどうなっているのか

5 コンビニ交付事業について

- (1) 事業費の内訳はどうなっているのか。また財源は
- (2) 個人情報の安全性は、担保できるのか

令和3年 第4回 定例会

1 垂水市光ブロードバンド整備事業について

- (1) 事業完了後、空白地帯は残るのか
- (2) 令和2年9月議会で、市長は「当面及ばないところには個別の対策、将来的には交渉しながら100点に近いかたちを目指したい」と答弁されているが、いつまでにどのような対策を検討するのか
- (3) 空白地帯へのモバイルルーターの購入、利用料の補助等の考えは

2 農畜産業のICT活用について

- (1) ICT活用への取組の考えは
- (2) 補助金創設の考えは

3 ドローンの活用状況と今後の保有台数増大の考えは

- (1) 現在、企画政策課で所管しているが、その理由は。全課の利用状況は
- (2) 災害時、上空からの現場写真を撮ることにより、災害状況を的確に把握し、国・県事業に早急に繋ぐためにも保有台数を増やすべきでは
- (3) 国土交通省の免許取得・講習受講状況と運航届について

4 ストレスチェック・職員の健康管理・職員配置・業務委託・指定管理について

- (1) ストレスチェック・健康管理の体制は十分か（休職者の職場復帰）
- (2) 安全衛生委員会の開催状況と議論の中身は

- (3) 定数制限の中での職員配置について、基本的な考え方は。兼務についての考え方は
- (4) 保守管理に国家資格・特殊な技能が必要で、一人勤務の部署も存在するが、職員の負担軽減を図るためにも業務委託・指定管理への移行の考えは
- (5) 火葬場の勤務状況とこれからの人材育成・指定管理者制度等の考えは

5 固定資産評価審査委員会について

- (1) 委員会の所掌事項と開催状況は
- (2) (開催されていない場合) その理由と今後の方向性は
- (3) 評価委員の研修の必要性は

令和3年 第2回 定例会

1 犬・猫の多頭飼育について

- (1) 住民間トラブルの取組は
- (2) 殺処分ゼロへの取組は
- (3) 去勢・避妊手術への補助金の考えは

2 コロナ禍の避難について

- (1) 避難所の設置数は十分か。定員超過時の対応は
- (2) 密集を事前に避ける方策として、スマートフォン等の活用は
- (3) 近隣宿泊施設と協定を結び、避難所として活用する考えは。利用した市民への助成金の考えは

- (4) 住民一人一人の避難計画作りを策定すべきでは

3 治山工事について

- (1) 優先順位の決め方について
- (2) 市民への理解を得るために、優先順位の見える化を図るべきでは(ポイント制の導入)
- (3) 予算化の取組状況は

4 公共物・屋外設置物・農機具等の盗難について

- (1) 全庁的な管理体制・防犯協会等との連携について
- (2) 巡回・啓発・注意喚起について
- (3) 農機具等の保険加入について
- (2) 公共物・屋外設置物盗難後の対応について

令和3年 第1回 定例会

質問されず ※コロナ予防の関係で議運メンバー質問自粛

令和2年 第4回 定例会

1 庁舎建設について

- (1) 予定地ありきの計画ではなかったのか。現庁舎・市民館について、隣接地の購入費、地権者の意向調査等行ったのか
- (2) 現庁舎の耐震診断は、耐震化を前提にしたものか
- (3) 計画案否決を受け、今後の建設地から計画予定地は除外するのか
- (4) 新庁舎建設を考える会から市長への公開質問状が出されているが、今回の問題を総括するためにも市長は回答する責任があると思うが、見解は。また、今後の取組は

2 財政問題について

- (1) 令和元年度末での市債残高、財政調整基金の残高は。また、他市との比較は（財政調整基金は19市の中で何番目か）
- (2) 来年度予算の地方交付税・市税収入等は、コロナの影響があり減収が予想されるが、予算編成の見通しは
- (3) ふるさと納税を恒常的な財源に位置づけるべきではないと思うが、市長の見解は
- (4) 令和元年度の一般財政の予算規模は約140億円、令和2年度は現時点で約160億円。水迫市政時は、約85億円であった予算規模は約2倍に拡大している。あれもこれではなく、スクラップ&ビルドを図り予算のスリム化を図るべきだと思うが市長の見解は

3 牛根クリニックについて

- (1) 今後の活用方法は
- (2) 活用方法が正式決定しない土地・建屋等の寄付に必ずべきではないと思うが見解は。また、どの部署で決定したのか
- (3) 今後の対応についての考え方は

4 小学校統合について

- (1) 教育長・市長の見解と今後の取組は
- (2) 地域住民の意向と児童・保護者の意向調査は

5 学校給食センターについて

- (1) 令和3年8月からの民間委託を目指しているが、職労との交渉は。保護者・児童生徒の意向調査はどうなっているのか
- (2) 民間委託で、食の安心安全が担保されるのか。また、地元食材の活用は守られるのか

(3) 「偽装請負い」法的整理は

6 日本郵政への証明書交付事務・事務の包括受託について

- (1) 現在までの、折衝内容は
- (2) 新城・牛根地域の住民意向調査の考えは
- (3) 委託後、余剰人員の他部署への異動の考えは

令和2年 第3回 定例会 質問されず

令和2年 第2回 定例会 質問されず

令和2年 第1回 定例会

1 市政運営の基本理念について

- (1) 積極的な情報発信と説明責任（広報・広聴）について、市長の考えは。特に広聴の手法について
- (2) 広聴の手法として、市民アンケート・住民投票等の考えはないのか
- (3) 外部検討委員会・審議会等の人選の在り方について

2 庁舎建設について

- (1) 防風壁の建設計画、予算規模は
- (2) 浸水対策について
ア 都市計画の見直しの手続と浸水対策の手法、事業の予算規模は
- (3) その他

3 たるたるおでかけチケット交付事業について

- (1) 65歳以上の全市民が対象なのか、事業の詳細を
- (2) 自家用車・公共交通を使用できない交通弱者に特定すべきでは

4 交通弱者対策について

- (1) NPO法人ワーカーズコープ撤退の事情と行政の関わり方は
- (2) 市単独でのタクシーチケットの配布・NPO法人への助成の考えは
- (3) 国庫補助対象外の地域について、市単独の乗合タクシーの考えは

5 突風被害について

- (1) 被害調査の体制について
 - ア 被害額の確定が遅かったのでは
- (2) 国・県への補助・助成の要望状況は
- (3) 廃プラ、パイプ除去以外の市単独助成の考えは
- (4) 農業共済、収入保険加入への誘導が必要ではないか

6 清掃センターについて

- (1) 煙突解体後の取組と建屋等の活用について
- (2) 労働環境の改善について

7 市内小・中学校の焼却施設について

- (1) 焼却施設の撤去状況は
- (2) 今後の撤去計画は

令和元年 第4回 定例会

1 災害復旧について

- (1) 市道元垂水原田線の山腹修復について
 - ア 市道柘原新城線の道路崩壊について
 - イ 市道垂水南1号線の山腹修復について
 - ウ 今後の対応と市単独実施の考えは
- (2) 災害復旧工事の未実施地区は、他にないのか

2 農地中間管理事業、人・農地プランについて

- (1) 農地中間管理事業の取組状況について
- (2) 人・農地プランの実質化（今後の取組）について
- (3) 農業委員会、土地改良区、JA等の連携について
- (4) 担い手の受入れ体制について
- (5) ICT農業の取組について

3 堆肥センターについて

- (1) 堆肥の販売状況は
- (2) 直近5年間の生ゴミの搬入状況は
- (3) 直近5年間の修理代は
- (4) 鹿屋市の堆肥センターは廃止の方向性と聞いているが本市の今後の方向性は

4 家屋全棟調査・空家対策について

- (1) 家屋全棟調査後のデータの活用について
- (2) 空家の有効活用について
- (3) 老朽危険家屋の対策について
- (4) 各課横断的な対策ではなく専門化した担当部署を設けるべきでは
- (5) お試し体験宿泊・地域の集いの場創設への助成の考えはないのか

令和元年 第2回 定例会

1 市道・農道の整備について

- (1) 公共施設等総合管理計画では、1年当たり平均更新費用を3億9,000万円と計画されているが、当初予算1億6,060万円、今回の補正では、1億円しか計上されていない。市民要望に応えられる予算なのか
- (2) 当初予算1,000万円、今回の補正では、僅か400万円しか計上されていない。市民要望に応えられる予算なのか

2 市営住宅の長寿命化について

- (1) 公共施設等総合管理計画では、計画的な点検や修繕等により予防保全型維持管理を実施するとなっているが、計画の具体的な内容と進捗状況は
- (2) 新城大浜団地は築23年になるが、新築後すぐ入居した世帯については畳表替えすら行っていない事例もある。内装等調度品の更新時期についての取扱要綱はどうなっているのか

3 垂水市社会福祉協議会について

- (1) 現在、400万円の補助金を出している。増額すべきと考えるが見解は
- (2) 所得の少ない世帯に、垂水市社会福祉協議会更生資金・県社会福祉協議会の生活福祉資金制度があるが、ハードルが高く、なかなか借りられない状況である。市が担保し、借入がしやすいような制度は、できないのか

4 農業振興について（道の駅も含む）

- (1) 有機農業・高齢世帯少量多品目の生産農家と単作の専業農家とに区分し、施策をすべきでは
- (2) 新規就農についての意見交換会の場を
- (3) 両道の駅の農産物の品揃えを拡大・充実する施策と集荷体制の確立の考えは
- (4) 法人化にあたっての支援体制の現状は
- (5) 法人化にあたっての就労補助金の創設等の考えは

5 通学費補助について

- (1) 市在住高校生全てに通学費補助を拡大するのが、行政の公平性であると思うが、市長の考えは

平成 31 年 第 1 回 定例会

1 市長選挙結果を顧みて

- (1) 新庁舎建設が今回の大きな争点であったが、結果を受けて計画の見直し、市民アンケートを実施する考えはないのか

2 市長の公約について

- (1) 健康長寿、温泉プールの必要性を問う

3 垂水市卸売市場について

- (1) 垂水大同青果への使用料減免措置幅の拡大はできないのか
- (2) 垂水大同青果への補助金の考えは
- (3) 大量出荷農家に対して出荷奨励金の考えは

4 新規就農者への支援策について

- (1) 市外からの移住・就農を募集する仕組み、現在の状況と今後の対策は
- (2) 新規就農者育成サポート体制についての考えは
- (3) 農の雇用事業について
- (4) 農業経営の第三者継承について

5 鳥獣被害対策について

- (1) 過去 3 か年の実施状況について
- (2) 報奨金における市単独分を引き上げる考えはないのか
- (3) 狩猟者育成の考えは
- (4) 罠作成への補助の考えは

6 市道・農道法面の除草及び養生について

- (1) 本来、市が実施すべきでは
- (2) 建設機械、除草アタッチメントの市費購入による各地区への貸与又は購入助成措置の考えは

7 建設残土について

(1) 建設残土が原因の耕地災害が発生しているが、今後防止するため建設残土に関する条例制定が必要と思うがどう考えるか

8 垂水市乳児用品等購入助成事業について

- (1) 対象となる乳児用品の拡大の考えは
- (2) オーガニック由来の商品希望に対しての対策は

平成 30 年 第 4 回 定例会

1 南の拠点整備事業について

- (1) 宮田屋珈琲店、Farm to Table TARUMIZU の内装工事費は、どこが負担したのか
- (2) マルシェの商品構成が少なく感じられるが、これからの充実策は
- (3) キッチンスタジオでの商品開発の方向性は
- (4) 民間施設の来春完成は、間違いないのか
- (5) 今議会で送迎バス購入費を計上しているが、必要ないのでは
- (6) 垂水経済同友クラブの提言をどう実行するのか
- (7) 国交省施設、民間施設全てが完成してから、フルオープンすべきではなかったのか

2 職員配置とキャリア育成について

- (1) 現在の取組状況と今後の考え方は関係課長
- (2) 環境センター、火葬場、国土調査係等、今後の職員体制について

3 教諭の超過勤務について

- (1) 超過勤務の現状は
- (2) 今後の業務改善の方策は

平成 30 年 第 3 回 定例会

1 ブロック塀対策について

- (1) 夏休みに行われたスクールゾーン調査の結果は
- (2) 撤去補助導入と今後の対策は

2 教育機会確保法について

- (1) 小・中学校のいじめ、非行、不登校の現状と対応について
- (2) 確保法に基づいた学校以外の「学びの場」の紹介についての考えは

3 市道・農道・市河川の除草作業について

- (1) 重機リース活用での除草作業を行っているが、作業効率・費用対効果の検証は。
また、重機購入の考えは
- (2) 大型車両通行の多い道路について、空間の確保が必要では（灌木（かんぼく） 除去）
- (3) 水辺サポート等の任意団体への除草機器の貸与・補助の考えは

4 農業施策について

- (1) 「ミシマサイコ」の取組状況と今後の対応は。また、他の新規作物の取組は。
- (2) 10年後を見据えた耕作者への意向調査
- (3) 小規模農家への支援策は
- (4) 集落営農、企業、任意団体への支援等についての考えは

5 空き家対策について

空き家の有効活用を図る”

- (1) 対策協議会設立以降の取組状況と今後の対応は
- (2) 全体調査、地権者への意向調査の考えは
- (3) お試し入居体験の拠点作りの考えは（未使用時は、子育て支援等で活用）
- (4) 任意団体への支援等は

平成 30 年 第 2 回 定例会

1 農業用水源確保対策事業について

- (1) 平成 24 年度からの実績を示せ
- (2) 平成 29 年度事業で 1 件水源確保ができなかったものがあるが、契約方法の見直し、救済策は考えられないか
- (3) 来年度以降も事業実施すべきと考えるが方向性は

2 除草剤の使用について

- (1) 新城鉄道公園内で除草剤を使用しているが、問題はないのか
- (2) 土木課以外の担当課の施設内で使用はないのか
- (3) 除草剤、農薬のドリフトについて、どのように指導しているのか。また、民有地であっても除草剤の使用を告知すべきと考えるが、今後の対応は

3 市道・農道・市河川の除草作業について

(1) 高齢化の進展により自助・共助が機能しない現状では、公助での事業実施が必要であるとするが見解は

(2) 重機購入・リースの考えはないのか

4 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について

(1) ウイルス感染症についての広報及び予防法についての今後の対応は

5 南の拠点整備事業について

(1) 垂水市整備の駐車場エリア内に、未買収の土地が存在している。今後の交渉についての考えは

平成 29 年 第 4 回 定例会

1 新城・牛根支所について

(1) 職員配置と証明書交付事務の取扱い件数は

(2) 日本郵便への証明書交付事務等の委託の考えはないのか

(3) 両支所を廃止した場合、支所設置条例施行規則で定められた事務分掌に支障をきたすのか

(4) 新城・牛根地区の人口減は著しいが、今後、両支所の体制についての考え方は

2 農業施策について

(1) K－G A P 取得の状況は

(2) 異業種間連帯、市内飲食店・学校給食等での食材の活用、ふるさと納税の返礼品の状況は

(3) 水産商工観光課・企画政策課等との連帯状況とこれからの事業展開は

3 昨年の台風 16 号災害について

(1) 農地・農業施設の復旧状況は

(2) 復旧が遅れた原因は

(3) 庁議での総括はおこなったのか。今回の教訓を今後どういかしていくのか

4 所有者不明地について

(1) 本市の所有者不明地の件数は

(2) 災害復旧時に所有者不明で問題点はなかったか。今後の対応は

5 南の拠点について

- (1) 土地の取得状況について
- (2) 設計変更もありうるのか
- (3) 市長の信念、責任、対応について

平成 29 年 第 3 回 定例会

1 障害者差別解消法について

- (1) 本市、公共施設のバリアフリー化・障害者用トイレ・点字ブロック等の設置状況と今後の対応は
- (2) 市職員に対する対応要領は
- (3) 障害者差別の相談窓口はどうなっているのか。また、今後どのように充実を図り問題を解決していくのか
- (4) 条例制定の考えは
- (5) 学校教育での差別を解消する学習は
- (6) 南の拠点におけるバリアフリー化における対応予定は

平成 29 年 第 2 回 定例会

1 職員人事について（台風 16 号災害をうけて）

- (1) 基本的な考え方について
- (2) 災害時等の定期異動凍結の考えは

2 耕地災害について（台風 16 号災害をうけて）

- (1) 進捗状況は
- (2) 工事の遅れの原因は

3 農業政策について

- (1) 新規就農者の育成対策について
- (2) 6次産業化について
- (3) 圃場整備後の湿田対策について
- (4) 農耕用車両事故について

4 小中学校施設整備について

- (1) 新城小学校の体育館浸水と駐車場の整備の対応策は

平成 29 年 第 1 回 定例会

1 垂水市空家等対策協議会条例について

- (1) 協議会の委員に、総務・財政・税務・市民・生活環境・土木課長、消防長は参加させないのか。

地域住民を委員に参加させると、所有権・相続権者の特定等秘密保護上、問題があるのではないか。

また、協議会の所掌事務のひとつである「空家等の適切な管理に関する協議」については法的知識が必要だと思うが、地域住民では議論に参加できないのでは

- (2) 対策協議会で、実態調査・立入調査、「特定空家」の認定、助言・指導、勧告、命令、代執行についても協議するのか
- (3) 第 7 条中の垂水市情報公開条例第 7 条・不開示情報を含む場合、不開示とすることは問題があるのでは

2 垂水高等学校振興対策について

- (1) 県教育委員会の発表（2 月 15 日）によると、本年度の出願者数は普通科 12 人、生活デザイン科 29 人、倍率 0.3、0.73 倍となっている。本年度も「垂水高等学校振興対策協議会補助金」1,150 万円が計上されているが、これまでの事業実施の検証と定員確保の今後の対応は

- (2) 今後も年少人口は減り続けるが、いつまで事業を継続するのか

3 新規・小中学校機械警備委託（2,916 千円）について

- (1) 法的根拠での事業実施なのか

4 鹿児島国体について

- (1) 鹿児島国体（平成 32 年度）に向けて、垂水市実行委員会運営補助金 43 万 3 千円が計上されているが、実行委員会の委員の構成と所掌の内容は。予算は充分なのか
- (2) 国体開催前のプレ大会の実施。国体終了後も、フェンシング・綱引き・スポーツチャンバラの競技が本市の財産となるような取組が必要ではないか（町おこし・競技会の誘致を通じての交流人口の増）

平成 28 年 第 3 回 定例会

1 小中学校の施設整備について

- (1) 各校の要望をどのように聴取し、事業実施しているのか
- (2) 愛校作業時の草木土の処分について

2 草木土の処分について

- (1) 土木課、市民課、生活環境課、農林課においてどのように対応しているか
- (2) 各地に仮置場を設け、行政で処分すべきでは

- (3) 各課個別に対応するのではなく担当課を統一すべきでは
- 3 処分場新設についての取組状況は

平成 28 年 第 2 回 定例会

- 1 災害時の拠点とデータのバックアップ対策について
 - (1) 市役所使用不可の場合の拠点は
 - (2) データのバックアップについての対策は
- 2 農・水産業の 6 次産業化について
 - (1) 現在までの取組み状況について
 - (2) 課題（問題点）と対策は
- 3 農地中間管理事業について
 - (1) 加入推進が進まない理由（原因）は
 - (2) 昨年と加入要項が変わったが、その中身は
- 4 防災営農について
 - (1) 被覆資材の張り替え事業について

平成 28 年 第 1 回 定例会

- 1 林業施策について
 - (1) 大隅森林組合垂水支所の現状で事業実施できるのか
 - (2) 地域の雇用の位置づけは
 - (3) ノコクズの不足の解消について
 - (4) 今後の対応は
- 2 空き家対策について
 - (1) 立ち入り調査から「特定空き家」の指定、修繕、撤去の勧告、命令等、取扱要綱を制定する時期では
 - (2) 固定資産税の免除の解除によって、「特定空き家」の排除も期待できると思うが、考えは
- 3 公共施設の改修について
 - (1) 公共施設等総合管理計画の制定前にも必要な補修については、前倒しで事業実施すべきでは

平成 27 年 第 3 回 定例会

- 1 人口増・子育て支援対策について

- (1) 「住宅取得費助成制度」について、市民についても認めるべきでは
 - (2) 「空き家バンク」登録物件の家賃への補助金創設の考えは
 - (3) 「空き家有効活用推進事業支援補助金」について、産廃業者以外の団体にも支出できないのか
- 2 市道・農道整備について
- (1) 重機借上料の増額を
 - (2) 自助で整備しているボランティア団体への助成金の創設を
- 3 耕地災害について
- (1) 市単独での助成金の創設の考えは
- 4 猿ヶ城・森の駅についての安全対策は
- (1) 「森の駅」の安全対策は万全か（死亡事故後の対策は）

平成 27 年 第 2 回 定例会

- 1 災害対策について
- (1) 避難所の見直しについて
 - (2) 避難道路の整備について
- 2 閉校中学校の活用について
- (1) 方向性と市民の意向は
- 3 農業振興と 6 次産業化について
- (1) 園芸ハウスのリース事業について
 - (2) ファームサラー制度創設について
- 4 人口減少対策について
- (1) 空き家、空き店舗の有効活用について
 - (2) 人材の登用と育成について
- 5 空き家基本条例について
- (1) 特別措置法の全面施行を受けて、今後の対策は
- 6 垂水高校への補助金について

平成 27 年 第 1 回 定例会

- 1 地方創生について
- (1) 本市の交付額の見込みは、いくらか。
 - (2) 本年度の使途は、決定しているのか。
 - (3) 今後 5 か年の目標や施策の基本的な方向、具体的な施策をどのように作成していくのか。

- (4) 市民の声をどのように施策に反映していくのか。
- 2 空き家対策特別措置法について
 - (1) 成立施行を受け、「特定空き家」の対策にどのように取り組むのか。
 - (2) 市内 847 戸の利活用可能な家屋の有効活用について
- 3 ふるさと納税について
 - (1) 市出身者又は縁故のない寄附者の内訳は（それぞれの件数と金額）
 - (2) 直接寄付の総額 2,404 万円は、県内で何番目に位置しているのか。
 - (3) お礼品の品揃えは
- 4 住宅取得費助成制度について
 - (1) 市民にも対象を広げる考えは
- 5 残土処分場について
 - (1) 新規残土処分場の新設の方向性は
- 6 小学校の統廃合について
 - (1) 文部科学省の統廃合の基準の見直しを受け、今後の方向性は
- 7 土曜授業の実施について
 - (1) 県教委からの通知後、教育委員会でどのような議論がなされ、実施決定となったのか。
 - (2) 土曜授業は、義務なのか。
- 8 終戦 70 周年記念事業について
 - (1) 歴史を振り返るためにも必要と考えるが、計画の予定はないのか。

平成 26 年 第 1 回 定例会

- 1 人口減少対策について
 - (1) 住宅取得費助成制度について
 - (2) 新規就農者の確保について
 - (3) 空き家の利活用について
- 2 安心安全対策について
 - (1) 自主防災組織、避難誘導、道路、避難所について
 - (2) 消防団の充足率、市職員の加入状況等について
- 3 高齢者福祉について
 - (1) 華厳園の位置付けについて
- 4 中学校跡地活用について
 - (1) 南部地区観光拠点整備事業について
 - (2) 財産の所管替えは

平成 26 年 第 2 回 定例会

- 1 農作業事故の予防策について
 - (1) 予防策について（本市の今後の取組体制）
- 2 小型特殊自動車について
 - (1) 本市の現有台数は
 - (2) 課税状況について
 - (3) 課税に向けた誘導策について
- 3 大隅肝属広域事務組合について
 - (1) 最終処分場について
- 4 防災訓練について
 - (1) 開催場所について
 - (2) 高齢者への配慮について
 - (3) 連絡体制について
- 5 メガソーラーについて
 - (1) 現状と今後の工程は
 - (2) 市長の見解は
- 6 南中ほか閉校中学校の活用について
 - (1) 閉校中学校の今後の活用策の方向性は
 - (2) 市長の見解は

平成 26 年 第 3 回 定例会

- 1 空き家基本条例について
 - (1) その後の進捗状況について
 - (2) 空き家の有効活用について
 - (3) 条例制定の考えは
- 2 人口増対策について
 - (1) 2040 年本市の将来推計人口 8,622 人について、市長はどう受け止めているのか
 - (2) 人口を維持、増加させるための施策は
- 3 大隅定住自立圏形成協定について
 - (1) 本市のコントラクターの利用状況は
 - (2) 本市の単年度の負担金は（コントラクターに関して）
- 4 市道、農道の除草、除木作業について
 - (1) 市民の要望に応えられているのか
 - (2) 作業機導入の考えは

- (3) 地域委託の考えは
- 5 鳥獣害対策について
 - (1) 狩猟者育成について
 - (2) 市民参加の対策協議会の設立は
- 6 防犯減災支援自販機システムについて
 - (1) 公有地の自販機数は
 - (2) カメラ、Wi-Fi、サイネージの活用の考えは

平成 25 年 第 1 回 定例会

- 1 施政方針及び予算について
 - (1) 水産業振興について
 - ア トップセールスが漁家の収入増に結びついているのか。
 - イ カンパチ、ブリの浜値と採算ラインは
 - ウ 生産調整が必要な事態では
 - エ 短期貸付金のこげつきのおそれと回収策は
 - オ 商工観光課との統合について
 - (2) 農業振興について
 - ア 市単独事業の拡充は
 - イ 新規就農者の支援対策は
 - (3) 農道整備について
 - ア 重機借上料、工事請負費及び原材料費について
 - (4) 生活保護費の削減について
 - ア 就学援助への影響は
 - イ 個人住民税の非課税限度額の算定への影響は
 - ウ 保育料や医療、介護保険料への影響は
- 2 地域振興計画について
 - (1) ハード事業に対する予算措置は
- 3 TPP問題について
 - (1) 市長の見解と対応は
- 4 南荻ヶ峯の林地開発について
 - (1) その後の対策の進捗状況について、末端排水が整備されておらず、市道への表面排水、それに伴う土地改良区水利側溝への土砂の流入が危惧されるが、根本対策は

平成 25 年 第 2 回 定例会

- 1 南萩ヶ峯の林地開発について
 - (1) 九州電力の高圧線の路線変更により、ソーラーシステム建設が具体化したと聞いているが、担当課は、認識しているのか。
 - (2) 県の指導は
- 2 自主財源の確保対策は
 - (1) 所得の捕捉は、充分行っているのか。
- 3 教育委員会の在り方について
 - (1) 橋下徹氏率いる大阪維新の会は、教育における政治主導の明確化として、2012 年 3 月に大阪府で「大阪府教育基本条例」、2012 年 5 月に大阪市で「大阪市教育基本条例」を制定した。市長及び教育長の見解は
 - (2) 教育長は、平成 24 年第 4 回市議会定例会で、「知」「徳」「体」の教育を進めると発言されたが、具体的な中身は
- 4 地籍調査の在り方について
 - (1) 調査に入る前の事前準備について
 - (2) 赤線、青線の解釈について

平成 25 年 第 3 回 定例会

- 1 有害鳥獣対策について
 - (1) 現状と課題について
 - (2) 市民も参加した地域ぐるみの対策協議会の設立が必要では
 - (3) 猟友会会員への助成の充実について
- 2 空き家基本条例の制定について
 - (1) 空き家調査の進捗状況について
 - (2) 空き家基本条例の制定についての考えはないのか
- 3 老朽ため池の整備について
 - (1) 市内の農業用水ため池について、問題点を把握しているのか
 - (2) 県、国の事業は、活用できないのか
 - (3) 市の助成は
- 4 環境整備班について
 - (1) 平成 24 年度の稼働状況は
 - (2) 各課、市民の要望に対応できているのか
 - (3) 土木課からの所管替えは考えていないのか

平成 25 年 第 4 回 定例会

- 1 農業政策の見直しについて
 - (1) 今回の見直しの内容は
 - (2) コメ政策の見直しによる本市水田農業への影響と今後の対策は
- 2 新規就農者対策について
 - (1) 就農者増加への対策は
 - (2) リース事業等への考えは

平成 24 年 第 1 回 定例会

- ・メガソーラーについて
 - (1) 本年 2 月 20 日のマスコミ発表により、既成事実を作り、議会軽視も甚だしいが、市長の見解は、真意は
 - (2) 平成 23 年 9 月 8 日以降のファンド運用会社ザイスジャパン（株）とのその後の協議内容は
 - (3) 本市の再生エネルギーの展望での位置づけは

平成 24 年度新年度予算について

- (1) 新規事業について（垂水市農業用水源確保対策事業ほか）
 - (2) 農作業受委託組織への市単独補助の考えは
- ・垂水、牛根両漁協に対する 2 億円の貸付金について
 - (1) 両漁協の経営状況について
 - (2) 各水産業者の経営状況を把握しているのか
 - (3) 貸付金の回収不能の恐れはないのか。また、貸付金の回収の保全対策は取られているのか。
 - ・垂水高校振興対策について
 - (1) 検定試験補助の中身について
 - (2) 今後、予算を伴う取組の考えは
 - (3) 直近 3 年間の本市中学生の卒業総数と垂水高校進学者数及び今後 9 年間の中学校卒業生の動向について
 - (4) 直近 3 年間の就職、進学率とその中身は
 - ・各小中学校の危険箇所の対策について
 - (1) 新年度予算、小中学校施設整備費 4,993 千円の内訳は
 - ・特定健康診査、特定保健指導について
 - (1) 受診率の現状は

- (2) 受診率向上の取組は
- (3) 受診率 65%未満の場合、後期高齢者支援金のペナルティが発生するが、その場合の試算額は

平成 24 年 第 2 回 定例会

- ・各小学校の危険箇所、生徒数増対策、小学校の統合について
 - (1) 各小学校、施設整備（改修、補修）の年次計画は
 - (2) 児童数増に向けた取組は
 - (3) 小学校統合についての考えは
- ・空き家条例と空き家バンク制度について
 - (1) 本市の空き家件数、また、崩壊のおそれ等の状況を把握しているのか。
 - (2) 空き家バンク制度の成果と現状は
- ・情報システムについて
 - (1) 使い勝手が悪いとの職員の声を聞くが、システム構築上の問題点はないのか。
 - (2) 固定資産評価に面積等の錯誤があるが、入力ミスか。原因は
- ・堆肥センターについて
 - (1) 原料生ゴミ中のビニール、プラスチックの未処理量は
 - (2) 廃液の活用は

平成 24 年 第 3 回 定例会

- ・市営住宅について
 - (1) 市有施設整備計画での位置付けは
 - (2) 統合、新築の計画は
 - (3) 滞納額と徴収率向上の取組は
 - (4) 徴収不能の理由とその内訳は
 - (5) 消滅時効の考えは
 - (6) 債権管理条例の制定の考えは
- ・市道・農道の管理、維持作業について
 - (1) 市の責任として取り組むべきだと考えるが、市長の見解は
 - (2) 環境整備班の位置付けについて
- ・いじめ対策について
 - (1) 直近 3 年間での小・中学校でのいじめ、児童生徒の問題行動は
 - (2) 外部委員を登用した、いじめ対策の委員会常設の考えは
- ・地域農業マスタープランについて

- (1) マスタープラン作成の進捗状況について
- (2) 新規就農者の支援体制について
- (3) 平成 25 年度以降の国の予算措置の展望は。また、本市の考え方は
- ・木質バイオチップボイラー導入調査事業について
- (1) 事業目的の趣旨は

平成 24 年第 4 回 定例会

- ・新城南萩ヶ峯の林地（原野）開発について
- (1) これまでの経緯と申入れ後の対応について
- (2) 市独自の林地（里山）開発条例制定の考えは
- ・農業振興地域の見直しについて
- (1) 5 年に 1 回の見直しが目安であるが、9 年間行われていない。その理由と今後の見直しは
- ・固定資産課税台帳の見直しについて
- (1) 固定資産税課税台帳の見直しの進捗状況について
- ・平成 25 年度予算編成について
- (1) 予算編成についての市長の考え方は
- (2) 枠配分方式・市長の政策枠の 2 本立てか

平成 23 年 第 2 回 定例会

- ・農畜産業振興策について
- ・垂水南中跡地利用について
- ・と畜場無償譲渡について
- ・市主催行事での参加者の健康管理対策は
- ・社協人事について
- ・鳥獣害対策について

平成 23 年 第 3 回 定例会

- ・華厳園への民間企業経営参画の申入れについて
- (1) 保健福祉課長は、複数の理事へ働きかけをおこなったのか。また、市長は、それを指示したのか。
- (2) 24 年度からの第 5 期高齢者福祉計画・介護事業計画の見直しは
- (3) 市長の中長期高齢者福祉・介護事業へのグランドデザインは

- ・口蹄疫の防疫対策について

- (1) 昨年発生した口蹄疫防疫対策の総括と今後の対応は

- ・肥育農家に対する振興策について

- (1) 口蹄疫終息後、本年生食による食中毒問題、セシウム牛の問題が発生し、肥育農家の経営を圧迫しています。市長の対応は。

- ・防災無線等の設置について

- (1) 東北大震災それに伴う放射能汚染又は台風 12 号による紀伊半島豪雨でも明らかなように、避難勧告など細かい災害情報をいかに住民に知らせるかが重要となっている。その方策と情報伝達のインフラ整備の考えは

平成 23 年 第 4 回 定例会

- ・華厳園へのアザレア参入問題について

- (1) 前市長とアザレア間で華厳園譲渡の約束があったのでは。市長の見解は。

- ・TPP 問題について

- (1) 野田首相の TPP 参加表明について、市長の見解は

- (2) TPP 参加決定後の市長の農業政策の展望は

- ・平成 24 年度の国の農業関連予算について

- (1) 国の予算の中身と農業者への説明会日程について

- ・堆肥センターについて

- (1) 冬作での堆肥の欠品について

- (2) 補修費、維持費の今後の見通しは

- (3) 施設の問題点をどのように把握しているのか。

- (4) ハト対策について

- ・消防行政について

- (1) 広域合併の進捗状況は

- (2) 人員、器材等の配備は充分か

- (3) 消防団員の定数充足率と訓練状況は

- (4) 大災害時の消防団員への安全対策は

平成 22 年 第 1 回 定例会

- ・農・畜産業振興及びインフラ整備について

- ・市営住宅について

- ・機構改革について

- ・陳情のあり方、参議院議員選挙について

- ・新城、輝北プレスウッド集合材工場予定地について

平成 22 年 第 2 回 定例会

- ・ 口蹄疫対策について
- ・ 戸別所得補償制度について
- ・ 介護保険について
- ・ 子宮ガン健診について
- ・ 小中学校教育施設の管理状況について

平成 21 年第 2 回定例会

- ・ 新城鉄道跡地の農道の市道への移管について
- ・ 農業機械事故対策について
- ・ 塩入川護岸道路復旧について
- ・ 農地情報促進事業について

平成 21 年第 3 回定例会

- ・ 垂水市食肉センターについて
- ・ 道路維持班について

平成 20 年第 1 回定例会

- ・ 平成 20 年度施政方針について
- ・ 農業政策全般について
- ・ 道の駅について

平成 20 年第 2 回定例会

- ・ 統合後の中学校に関わる問題について
- ・ 固定資産税の評価替えについて
- ・ 保険制度その他について
- ・ 公共施設の維持管理について
- ・ ふるさと納税制度について

平成 20 年第 3 回定例会

- ・ 食育の推進について
- ・ 学校支援地域本部事業について
- ・ 「魅力ある観光地づくり事業」について
- ・ 「大隅少年自然の家」への市有地貸付と周辺整備について

平成 20 年第 4 回定例会

- ・ 高峠再開発
- ・ 養殖業・農業の振興対策について
- ・ サラ金、クレジット等の多重債務者への救済策は

平成 19 年 第 2 回 定例会

- ・ 農業公社設立について
- ・ 学校給食の民営化について
- ・ 人口減対策について

平成 19 年 第 3 回 定例会

- ・ 自然災害による早期避難対策について
- ・ 給食問題（民間委託について）
- ・ 中学校統合について
- ・ 振興会の統合について
- ・ 選挙公報の配布について
- ・ 土地開発公社について
- ・ 三和センターの食改施設の存続について

平成 19 年 第 4 回 定例会

- ・ 学校林の現状と林業振興について
- ・ 新城鉄道跡地の農道（麓から大都まで）の市道への移管と交通安全対策について
- ・ 土地改良区所有の水路（感王寺溜池から田平・横間にかけて）の土木課移管について
- ・ 農道整備について